

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

津軽「あずましい家」

グループの名称

津軽「匠」の会

直近採択グループ番号

06-0274-0034

(グループ代表者)

代表者名

三上 裕弘

代表者印

代表者所属先

株式会社三上材木店

代表者所在地

青森県弘前市堅田字神田470

代表者電話番号

01-7236-0303

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社小池銘木店

事務局担当者名

小池 広志

印

事務局郵便番号

030-0812

事務局所在地

青森県青森市堤町2丁目1-19

事務局電話番号

01-7773-3111

事務局FAX

01-7773-3114

事務局担当者E-mail

koike-m@crest.ocn.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
				0		m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	補助金を未活用の工務店に対し、優先的に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 津軽「あずまい家」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県内
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 津軽「匠」の会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0274-0034	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	断熱性・気密性の高い、冬に暖かい住宅。 地震に強い、耐震住宅。 青森県省エネガイドラインにもとづく住宅。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	降雪・積雪を考慮し、屋根の勾配・方向、窓の大きさ・向きに考慮した住宅。 冬場の気温・積雪に考慮した玄関および水廻りの設置位置。 冬場は南面窓からの日射を有効に取り入れた住宅。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	落雪、除排雪を考慮した住宅の設置。 敷地面積に応じた無落雪住宅および屋根からの落雪を考慮した落雪屋根の住宅。 近隣の敷地に雪で迷惑をかけないように十分に考慮した設置。	◎
④①～③の背景	青森県は年間の降雪量が全国トップクラスである。 また、1月・2月の平均気温はマイナスとなる非常に厳しい寒さである。 毎年、屋根の雪下ろしの際に転落する事故や雪による近所トラブルが多発している。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	高効率設備の導入により住宅全体の省エネ化。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材に関しては、基本的に3寸5分とする。 使用寸法にバラつきのある材料に関しては、巾・厚みを統一する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 開口部は、高断熱サッシ・LOW-E複層ガラスを標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年間の使用量を把握し、一括・大量仕入れを行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用建材の選定リストを作成。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が施工業者と流通・設計業者の意見・要望をすりあわせ 各々の要望・問題を把握しスムーズに処理する。 問題点があれば、委員会等を設置し改善に取り組む。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1棟ごとに事務局が精査し、問題点の改善を促す。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術者講習をもとに、グループ内の施工基準を整備する。 地盤調査の全棟実施 定期的な施工技術者講習を開催する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険の「基礎配筋検査」「上部躯体検査」「防水検査」の際に事務局及び 施工業者が立ち会い、結果を報告書として保管する。 地盤調査の証明書を事務局に提出する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとしての地域住宅にあった、材料・施工を共有しながら性能の担保、 コストの低減を目指す。グループ内の統一した価格体系を設定し、積算ルールを 整備しスムーズな見積体制を確立する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 必要に応じグループ内にチェック機能をもつ部署を設け、現場の巡回・ チェックリストを作成する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内労働者に社会保険の加入を促す。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安全第一に行動する。年に1回以上、健康診断を受診をうける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 津軽「あずましい家」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県内	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 津軽「匠」の会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0274-0034		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の住宅履歴書・維持管理計画書を作成し提出する。点検チェックリストを作成する。また住宅履歴情報を、維持管理委員会と施工店で共有する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の写しを、事務局も保管しグループで確認できるようにする。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の点検方法・診断基準をつくり、それに準じたメンテナンスの実施。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 水道・ガス等の配管のある場所には適宜、点検口を取付けて壁・床を壊すことなくメンテナンスできるようにする。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検チェックリストをもとに、点検を行うこととする。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通事業者で維持管理検討委員会を設置する。		◎
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の他の施工事業者が、その現場をすみやかに引き継ぐ。維持管理検討委員会が責任をもって管理する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理検討委員会が中心となって未経験工務店を対象に技術向上のための、施工研修会等をおこなう。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 雨天時の養生の徹底。商品や材料は、各々の倉庫に整理整頓の上、保管する。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理シートに基づき、随時確認を行う。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体の技術向上を図りながら、認定低炭素住宅・ゼロ・エネルギー住宅への対応を目標とする。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験の工務店に対する研修会を実施し、常に登録事業者・施工事業者とともに積極的に技術向上を図る。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 9	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 9		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の重要さを説明し、理解してもらい、開催予定を速やかに把握し、参加を促す。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各メーカーからの新商品、新技術の提案を常に把握し、各登録業者へ提供する。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 津軽「あずましい家」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 青森県内
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 津軽「匠」の会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0274-0034	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
・認定低炭素住宅 1. 低炭素建築物認定基準 1.) 「定量的項目」一次エネルギー消費量を、地域ごとに定められた基準から10%以上削減する。 2.) 「選択的項目」8つの項目のうち2つ以上の該当。 ①節水器機の設置 ②雨水・井水・雑排水の利用 ③HEMS又はBEMSの設置 ④再生可能エネルギーと定置型蓄電池 ⑤一定のヒートアイランド対策 ⑥住宅劣化低減措置 ⑦木造住宅である ⑧高炉セメント等の利用 上記を満たす住宅とします。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。